レビー小体型認知症サポートネットワーク福岡
第 27 回研修会・交流会

2024 年 1 月 18 日（木）に第 27 回研修会・交流会を天神・BiVi 福岡 で、協力医 合馬慎二先生の司会のもと開催しました。11 名の方にご参加いただき、ご本人 3 名、初参加 5 名で、県外（長崎）からいらした方もいらっしゃいました。

最初に坪井 Dr.より、レビー小体型認知症とのつきあい方についてのお話から始まりました。レビー小体型認知症は経過に沿って症状が出現し、すべての症状が出るわけではないため、診断に時間を要することが説明されました。日常生活や介護で気を付けるべき点について説明がなされました。その後、参加者全員で輪になって座談会型式で話をしました。

グループワーク

3 名のご本人が参加されましたが、それぞれで症状が異なっていました。お一人の方は、夜間に悪夢を見ること、日中眠く、注意力が落ちているようだとお話されました。また、別の方からは、数字感覚が鈍っていること、今の困りごとは何か、手探りで日々生活されていることがお話されました。もうお一人の方からは、夜間睡眠がとれないこと、幻覚が見えることがお話されました。

幻覚はレビー正体型認知症の方が訴えられる症状の一つです。医師から、部屋の物の配置等環境を変える工夫についてお話がされました。

遠方の施設に入所する家族に対して、食べ物よりも、昔の写真や手紙（内容は長くないもの。大きめの字で読みやすいもの）を送ってはどうかというアドバイスがなされました。

在宅から施設へ移る際、家族は様々な想いを抱えられます。施設に入ったからといって在宅に帰ることができないわけではないので、今後、どのように折り合いをつけながら穏やかに生活できるか一緒に考えましょうというお話がなされました。

次回の研修会・交流会は、2024 年 4 月 18 日（木）18 時～

BiVi 福岡　6 階会議室です。

＊参加の際には、マスクの着用、自宅での体温測定をお願い致します。

報告者：DLBSN 福岡 副代表坂梨左織